

情報

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
情報	情報 I	2	1 年次	必履修
使用教科書 (出版社)		副教材 (準備するもの)		履修の条件・連絡
情報 I (日本文教出版)		情報 I サブノート		1 年次必履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得しているとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めている。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用している。	情報と情報技術を適切に活用しているとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容 (単元・項目)	月	学習のねらい	評価の観点
1 学 期	学 習 の 年 間 計 画	第1章 情報社会の問題解決	4	情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。	1 3
					1 2
			5	目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える力を養う。	2 3
					1
		6	情報社会の問題を主体的に発見し明確化し、解決策を考える力を養う。	1 2	
				2 3	
7		メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。	2		
7		1 2 3			
2 学 期	学 習 の 年 間 計 画	第2章 コミュニケーションとデザイン	9	情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける。	1
					2 3
		10	メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けている。	1 3	
				1	
		11	コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する。	2	
				1 2	
12		目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えることができる。問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度、結果を振り返って	2 3		
			1		
11	1				
12	1 2 3				

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

				改善しようとする態度、生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。	
3 学 期	第3章 情報通 信ネッ トワー クとデ ータの 活用	1. 情報通信ネットワークのしくみ	1	情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。	1 1 2 2 3
		2. 情報システムとデータベース	2	目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。	1 2 2 3
		3. データの活用	3	情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養うことができる。	1 1 2 1 3 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○学習内容(情報リテラシー、実習時の操作方法)を理解できているか。 ○正しい方法でコンピュータを操作できているか。	○学習内容を理解しようとしているか。 ○学習内容を適切に活用できているか。 ○学習内容を関連付けて実習に生かしているか。		○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に実習に取り組んでいるか。 ○日常の事象や社会の事象などに学習内容を関連付け、活用しようとしているか。
	手 段	・サブノート、課題 ・小テスト、定期考査などの試験 ・実習の成果物	・サブノート、課題 ・小テスト、定期考査などの試験 ・実習の成果物		・サブノート、課題 ・小テスト、定期考査などの試験 ・実習の成果物
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法	単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、積極的に学習に取り組むこと。 ・タブレットを忘れずに充電し、学校へ持参すること。 ・定期考査では、しっかりと復習をして臨むこと。 				